



相互交流協定の一環 市立小中学校 55校で4月から 市川市の学校給食で西会津産米の提供始まる

千葉県市川市の子どもたちの学校給食に、西会津町・喜多方市・北塩原村で収穫されたご飯が並びました。

これは、平成30年9月4日に市川市と締結した相互交流協定の一環として始まったもので、今年4月より、市内の55校の小中学校給食に本町および喜多方市・北塩原村産の米が提供されています。児童生徒数は約3万2000人で、提供される米の量は年間約360ト(玄米ベース)になります。

平成23年の福島第一原子力発電所の事故以来、町では風評被害払拭のため、モニタリングやイベントなどを通じた農林水産物の安全性のPRを行っています。今回の市川市への米の提供によりさらなる風評被害の払拭につながることを期待されます。[写真等は喜多方市より提供]



写真は市川市立百合台小学校の給食の様子



この日の給食は、「福島県の郷土料理」と題し、こづゆなどが提供されました

消火活動の後方支援を行う消防ボランティア組織 西会津町消防支援隊へ委嘱状を交付

西会津町消防支援隊の委嘱状交付式が4月16日、町長室で行われ、薄町長より、隊長の目黒一さん、副隊長の新澤光男さん、同じく副隊長の齋藤修さんへ委嘱状が交付されました。

西会津町消防支援隊は平成21年4月に発足した消防ボランティア組織で、火災発生時に消防団員や消防署員が現場に到着するまでの間、初期消火や避難誘導、安否確認などの消防活動の後方支援を行います。消防団員の多くが日中働いていることから、日中に火災が起きた際に迅速な初期消火が行えるよう、日中を地域で過ごす消防団OBなどが中心となり組織されました。式では薄町長より、「安心・安全な町を実現するためにご協力をお願いします」とあいさつがありました。



薄町長から委嘱状を受け取る目黒一隊長(写真中央)、新澤光男副隊長(写真右から2人目)、齋藤修副隊長(写真右)



本年度の自治区長会議を開催

自治区と町役場をつなぐ橋渡し役 新任自治区長は32人

本年度の自治区長会議が4月19日、町公民館・大ホールで開かれました。会議では、初めに薄町長より委嘱状の交付が行われ、新任の自治区長を代表し、塩喰自治区長・清野忠弘さんが委嘱状を受け取りました。その後、薄町長より「4月から町の新しい総合計画が始まります。今後もより良い町にしていきたいよう、区長の皆さんのご理解とご協力をお願いします」とあいさつがあり、続いて、本年度の町の主要事業の説明が行われました。今月号では、自治区と町役場の橋渡し役として活動する自治区長の皆さんを紹介いたします。

- 【野沢地区】**
 - ▼1町内 渡部信一 ▼2町内 須藤忠安 ▼3町内 山本眞介 ▼4町内 渡部憲 ▼5町内 小島洋一 ▼6町内 橋谷田豊 ▼7町内 池田清志 ▼8町内 新澤光男 ▼9町内 1 酒井誠明 ▼9町内 2 福澤明生 ▼10町内 越中博之 ▼下小屋 小柴正意 ▼西平 大沼哲 ▼四岐 大沼喜明 ▼芝草 新田壽重 ▼芹沼 武藤忠夫 ▼堀越 齋藤茂 ▼塩喰 清野忠弘 ▼中野 長谷川孝雄 ▼大久保 清野慶久 ▼牧 伊藤一郎 ▼安座 長谷川隆夫
- 【尾野本地区】**
 - ▼森野 井上清一 ▼西原 高目 佐藤菊市 ▼小清水 長
- 【新郷地区】**
 - ▼呼賀 高橋政美 ▼平明 薄三恵子 ▼原 五十嵐新正 ▼新村 薄俊一 ▼樟山 武藤修一 ▼滑沢 武藤巖 ▼滝坂 佐藤勝栄 ▼柴崎 武藤喜平 ▼橋立 佐藤健一 ▼井谷 薄定雄 ▼八重窪 物永巖 ▼橋屋 上野誠喜 ▼戸中 長谷川賢一 ▼高目 佐藤菊市 ▼小清水 長
- 【群岡地区】**
 - ▼上野尻 二瓶穰 ▼下野尻 長谷川誠 ▼端村 加藤浩一 ▼徳沢 猪俣静也 ▼宝川 雅樂川 正明 ▼白坂 佐藤教男 ▼屋敷 伊藤優一 ▼榎木 平 佐藤興市 ▼熊沢 佐藤勘一
- 【奥川地区】**
 - ▼杉山 佐藤正博 ▼向原 杉本昌登 ▼塩 伊藤善一 ▼新町 川上研二 ▼道目 井上國男 ▼下松 岡野欣一 ▼山浦 三瓶克己 ▼出戸 三瓶寅雄 ▼中ノ沢 矢部榮一 ▼松峯 矢部喜一 ▼中町 岩橋義平 ▼小山 猪俣八重子 ▼真ヶ沢 荒海健 ▼宮野 五十嵐政夫 ▼梨平 長谷川富吉 ▼小屋 玉木新太郎 ▼極入 佐藤義光 ▼弥平 四郎 篠木留吉 ▼小綱木 荒海洋子 ▼大舟沢 五十嵐靖夫
- 【谷沼地区】**
 - ▼岩橋敬二
- 【谷沼地区】**
 - ▼漆達 會澤真 ▼荒谷沼則夫

〔敬称略 太字は4月1日付新任〕



代表で委嘱状を受け取る清野忠弘さん



西会津町の顔として、町の魅力を発信していきます

3代目「にしあいづ観光クルー」決定

新しく決まった3代目「にしあいづ観光クルー」の3人が4月26日、町長室を訪れ、就任のあいさつをしました。

3代目「にしあいづ観光クルー」に就任した成田尚美さん、星牧さん、神田陽萌さんは町長室を訪れ、これからの観光クルーとしての活動の抱負や意気込みを語りました。

3人は今後3年間、西会津町の顔として、イベントなどで町のPR活動を行い、町の魅力を発信していきます。



写真左から、神田陽萌さん、成田尚美さん、星牧さん

12年ぶりの連合検閲

消防団連合検閲が行われました

西会津町、喜多方市、北塩原村の3市町村の消防団連合検閲が4月28日、喜多方市の押切川公園スポーツ広場などで行われました。連合での検閲は12年ぶりになります。西会津町からは111人の団員らが参加しました。

体育館東側の市道で閲団式と分列行進が行われた後、スポーツ広場で行われた検閲式では、厳正な規律と旺盛な士気のもと団員が一致団結し、的確な行動による通常点検と小隊訓練を行いました。

検閲式後に行われた放水訓練では、消防ポンプ車の放水銃から見事な放水を行い、日頃の訓練の成果を披露しました。



日頃の訓練の成果を発揮し、堂々と行進する町消防団員

親族みんなで満100歳の長寿を祝う

須藤ツギノさんへ百歳賀寿を贈呈

5月13日、この日に満100歳の誕生日を迎えた須藤ツギノさんの百歳賀寿贈呈式が行われ、親族と関係者で須藤さんの長寿を祝いました。式では、福島県知事および西会津町長、西会津町老人クラブ連合会からの賀寿と記念品が贈られた後、さゆりの園の入所者と職員からも記念品が手渡され、親族からは花束が贈られました。親族を代表して、甥の新田良一さんが「令和元年の今年に100歳を迎えられてうれしい。今後も長生きしてほしい」とあいさつしました。歌や踊りを楽しむことが須藤さんの長寿の秘訣ということでした。

新たに着任した警察官の皆さんを紹介

こちら西会津交番・奥川駐在所です



さとう すぐる
佐藤 克 所長

◎西会津交番、野沢地区担当
◎いわき中央警察署から異動

抱負＝一日も早く皆さんに顔と名前を覚えてもらい、西会津町の安心、安全のため、精一杯頑張っていきますので、よろしくお願いします。



きくち まさひろ
菊地 雅裕 巡査

◎西会津交番、尾野本地区担当
◎郡山警察署から異動

抱負＝西会津町に必要な人材になれるよう努力し、元気に明るく、全力投球で頑張ります。西会津町が大好きなので皆さんとの出会いを宝物にし、親しまれ、頼りになるお巡りさんを目指します。



たぐち りょう
田口 諒 巡査長

◎奥川駐在所、奥川地区担当
◎会津坂下警察署から異動

抱負＝管内の早期実態把握に努め、地域住民の皆さんが安心して、安全に暮らせるような町にするため、日々の業務などに邁進していきたいと思えます。



このほか、以下の地区は、昨年と同じく中野目巡査と志賀巡査部長が担当します。

◆西会津交番

野沢地区担当＝中野目 一樹 巡査

群岡・新郷地区担当＝志賀 直人 巡査部長

自衛隊と地域のかげ橋として、自衛官募集の広報活動を行います

自衛官募集相談員へ委嘱状を交付



自衛官募集相談員の委嘱を受けた佐藤政雄さん(写真右から2人目)と長谷川義雄さん(同3人目)

5月8日、自衛官募集相談員の委嘱状交付式が町長室で行われ、佐藤政雄さん(出ヶ原)と長谷川義雄さん(森野)に委嘱状が交付されました。

自衛官募集相談員は、自衛隊と地域のかげ橋として、志願者の相談に応じるほか、募集ポスター掲示の支援をするなど、自衛官募集に関する広報活動を行います。

式では、薄町長より「自衛官募集のためにお二人の力を貸していただきたい」とあいさつがあり、自衛隊福島地方協力本部副本部長の福岡理さんからも「昨今の募集環境は非常に厳しく、地域に根ざした募集相談員の力が必要となるため、今後ともご協力をお願いしたい」とあいさつがありました。任期は令和3年3月31日までの2年間です。



「芝桜まつり」開催中の平田村で行われました

「浜・中・会津友好交流協定」締結記念植樹

本年3月に広野町・平田村・西会津町との間で結んだ「浜・中・会津友好交流協定」の締結を記念して、5月3日、石川郡平田村のジュピアランドひらたで、記念植樹が行われました。

記念植樹は3町村長および議会議員、議員が出席して行われ、平田村が一望できる会場内の「世界のあじさい園」の一角で行われました。

広野町はヤマザクラを、平田村はアジサイを、西会津町はイロハモミジを、それぞれ植樹しました。

植樹後、各町村長や議員は、同日に同会場で開催された「芝桜まつり」のオープニングセレモニーに出席し、イベントの開催を祝いました。大型連休中の会場には多くの観光客が訪れ、晴天の下、色鮮やかに咲き誇る芝桜を楽しんでいました。



↑イロハモミジを植樹する薄町長と武藤議会議員



↑ジュピアランドひらたの芝桜まつりの様子

町長コラム

その 7



令和の時代が幕を開けた。新元号が何になるか私もいろいろ想像してきたが、4月1日に発表された元号は、想像とは全く違う「令和」となった。その意味とか込められた思いについて、いろんなことが言われているが、私は「清くやさしい心を寄せ合って、このすばらしい自然をしっかりと次の時代に継承し、夢と希望に満ちた新しい時代を、みんなの力で切り開いて行く」ことだと解釈している。皆さんはどう考えていますか？

時を同じくして、本年4月1日から新しい西会津町総合計画（7年間の計画）による町づくりがスタートしたことは、偶然とは言え幸先が良いのではないか。

平成の時代を振り返ってみると、東日本大震災とそ

れに伴う原発事故、豪雨災害など自然災害の多い時代であったが、一方で今日の西会津町の礎を築いてきた30年間であった。保健・医療・福祉のトータルケアの町づくり、百歳への挑戦、老健や特養などの福祉施設整備、ケーブルテレビ、インターネット環境整備、温泉健康保養センター、道の駅、ミネラル野菜の家、統合小中学校、認定こども園の建設や町民バスの運行、国際芸術村、役場新庁舎の整備など先人の先見性に基づく町づくりであり、その知恵や情熱に学び、新しい令和の時代に向けた町づくりを職員一丸となって、全力で取り組み、新しい西会津町の歴史を築いていきたい。

西会津町長 薄 友喜